

現地から考える 地方自治の危機と

希望 希望



シンポジウム

いま、大阪の、そして日本の自治が問われています。

「大阪都」構想から「道州制」議論まで。まるで「自治」の形を変えてしまえば、すべてがうまくいくかのようなたたみさです。そんな中で、大阪の人々の「自治」は本当に尊重されているのでしょうか？

米軍基地や原発が立地する自治体に生きる住民の「自治」を、自治体はどう守り、国はどう保障していくのでしょうか？

福島・沖縄・大阪—三つの「現地」を結び、今そこにある「自治」の危機と希望を考えます。

1日目

・5月18日(金)午後6:30~8:30

・エル大阪(エルシアター・2F)

2日目

・5月19日(土)午前10:00~12:00

・PLP会館・5F

パネリスト



●前
大阪市長
平松 邦夫

プロフィール MBSアナウンサーを経て、2007年大阪市長。市長時代は市民協働推進に尽力。昨秋の市長選挙では「大阪都構想」反対を貫き、52万票を獲得するも惜敗。著書に「おせっかい教育論」ほか。

パネリスト



●元
宜野湾市長
伊波 洋一

プロフィール 沖縄県議を経て、2003年、宜野湾市長。普天間基地問題解決のため市長として3度の訪米要請行動に取り組む。2010年沖縄県知事選に出馬するも惜敗。著書に「沖縄基地とイラク戦争」ほか。

パネリスト



●前
福島県知事
佐藤 栄佐久

プロフィール 参院議員を経て、1988年、福島県知事。原発政策や道州制で政府の方針と対立。著書に「知事抹殺—つくられた福島県汚職事件」「福島原発の真実」、「地方の論理」(開沼博との共著)がある。

コーディネーター



●北海道
大学准教授
中島 岳志

プロフィール 北海道大学准教授。保守思想を現代に生かす気鋭の研究者。著書に「中村屋のボース」「秋葉原事件」「脱「貧困」への政治」ほか多数。「ビッグイシュー—さっぼろ」代表。朝日新聞書評委員。

現地から考える 地方自治の危機と希望

自治研集会[※]の一環として、東日本大震災復興支援「福興市(ふっこういち)」を開きます。「福興市」とは、大津波で被災した宮城県南三陸町で、地元商店街と町が協働し仮設テントで行った「市(いち)」。全国からの支援も得てすでに12回を数え、地元住民を元気づけてきました。また、地域医療を支える看護師の人員不足の克服に向けて署名活動に取り組み、あわせて救急医療教室やAED講習などを企画しています。

福興市 ふっこういち

●5月19日(土) 午前10:00~午後4:00
20日(日) 午前11:30~午後4:30

●天三おかげ館



岩手・宮城・
福島の名産も
そろってます



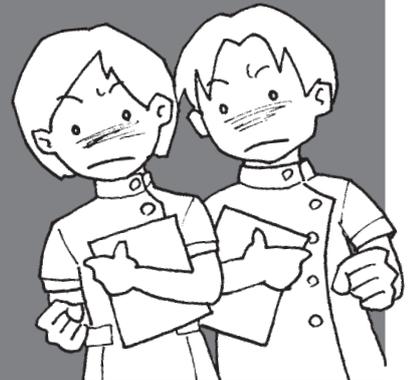
「本場仙台
みそ」の味で
「ごはんも進むし
復興も進むよ



南三陸名物の
「笹かまぼこ」
「イカの塩辛」は
絶品だよ



あなたの健康・命を守るために
**就労看護職員
200万人体制の実現を**
署名活動へのご協力をお願いします。看護
と医療を考えるイベントもやっています。

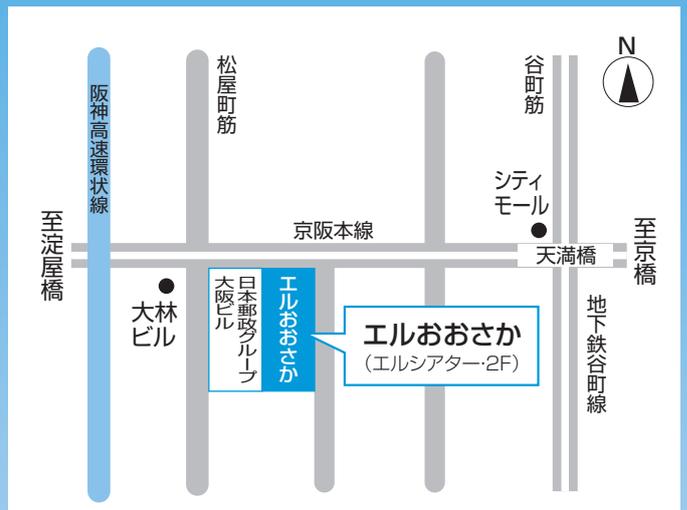


案内図

●PLP会館 ●天三おかげ館



●エルおおさか



分科会のお知らせ 第15回自治労大阪府本部地方自治研究会 (場所は2日ともにPLP会館・各会議室)

2012年5月19日(土) 10:00開会・15:30終了 ●みんなで広げよう!リサイクルの輪 ●「市民のため」から「市民と共に」へ ●今、自治体職員として
なすべきことは何か ●地域から児童虐待をなくそう ●市町村で何が出来る?障害者就労支援~地方分権時代の実践から
2012年5月20日(日) 10:00開会・15:30終了 ●社会保障・税一体改革の展望~自治体行政への影響を考える~ ●公契約条例を考える

※自治研集会と自治労大阪府本部 自治労大阪府本部は、大阪府と府内の自治体の職員及び地域の公共サービスに従事する労働者などでつくる労働組合です。地方自治研究活動を通じて市民とともに自治体改革をめざしています。自治研集会は市民と自治体職員がいっしょに自治を語り、考える場です。

問い合わせ 自治労大阪府本部・政策局
Tel. 06-6242-2233